

佐賀大学教育学部附属小学校 特別活動の取り組み

学級活動(1)は、「つかむ→話し合う→実践する→振り返る」の一連の学習過程を子どもたちの自主的・自発的な活動で進めていきます。今回は7月に行った5年生での実践を紹介します。

つかむ

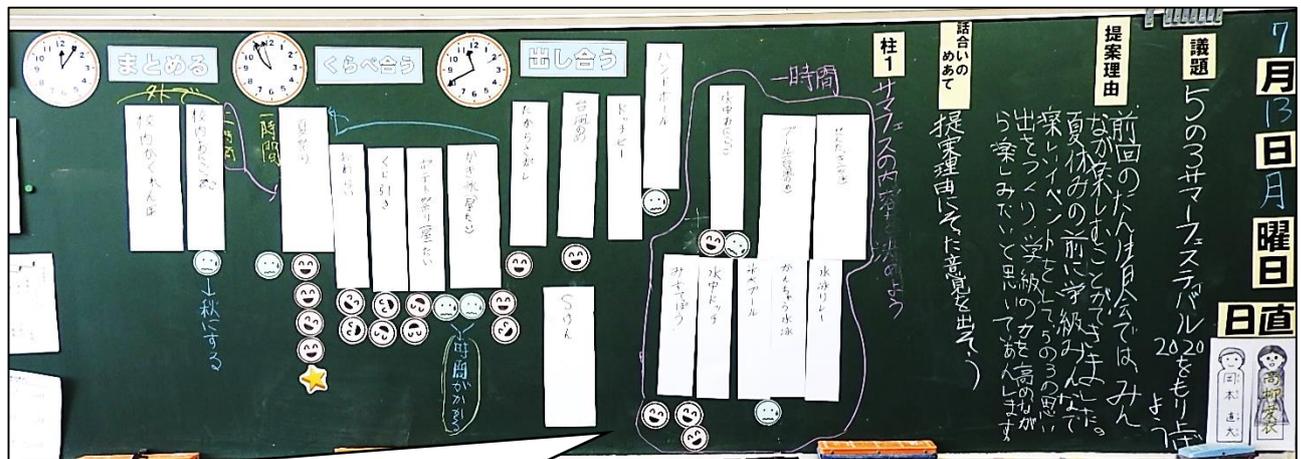
話し合う

実践する

振り返る

議題「5の3サマーフェスティバル2020を盛り上げよう」

提案理由
 前回の誕生日会では、みんなが楽しむことができました。夏休みの前に学級みんなで楽しいイベントをして、5の3の思い出をつくり、学級の力を高めながら楽しみたいと思い、提案します。



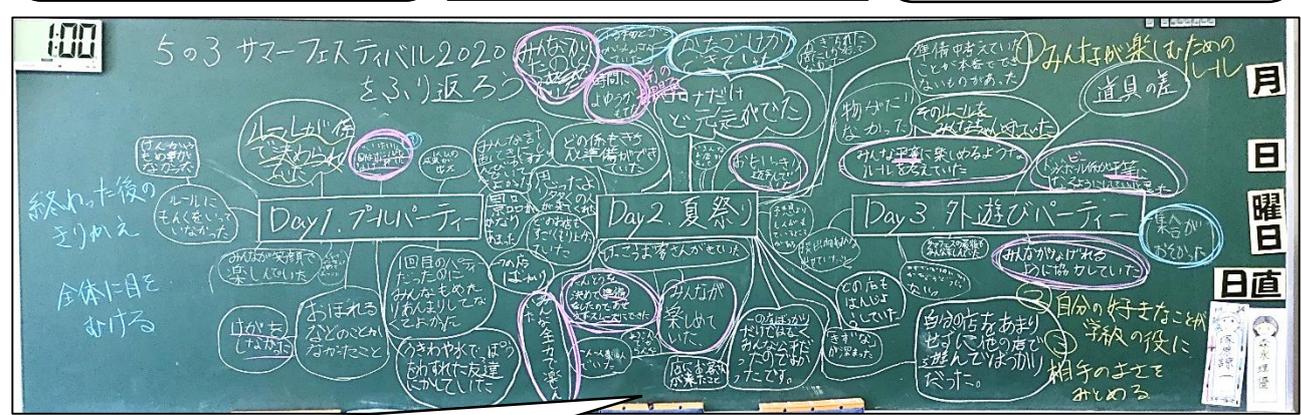
「出し合う」で出された意見を短冊に書いて掲示することで、可視化、操作化、構造化ができるようにしました。提案理由にそった意見を価値づけ、司会グループに適宜助言をしながら合意形成に向かいました。今回は「水中ドッジ」「夏まつり」「ドッジビー&水鉄砲遊び」に決まりました。



夏祭りでは、自分たちの好きなこと、得意なことを生かして出店を出しました。どのお店も来てくれた人が喜んでくれるような工夫が凝らされていました。



ドッジビーは男子対女子で行いました。男子は利き手を使わないというルールでバランスをとっていました。これも話し合いの中で話題になったものです。



ワークシートに個人の振り返りを書いた後、黒板に書かせました。全体の場で整理しながら、実践の中で感じた気づきや思いを共有します。「自分の好きなこと、得意なことが学級の役に立った」「みんなが楽しむためのルールをつくり、それを守った」ことなどを価値づけました。課題としては、「片づけに取りかかるのに時間がかかった」「同じ店ばかりで遊ぶ人がいて困った→全体に目を向けたい」という意見が出ました。振り返りを通して得た学びを、これからの生活や次の実践につなげていきます。